

渋沢丘陵を考える会 様

神奈川県環境農政局水・緑部水源環境保全



相模メモリアルパーク第 2 霊園 (秦野・渋沢地区) 開発事業エノキの移植について  
の質問と要望について (回答)

平成 26 年 12 月 15 日付けでご質問とご要望のありました標記の件につきまして、次のとおり回答いたします。

1 エノキの移植作業の予定について

許可を行った際の事業者からの申請書では、冬季又は梅雨時に行う予定と記載されていますが、現時点では、エノキの移植作業を実施したとの報告は受けておりません。

なお、実際にエノキの移植をする際は、樹木医の技術的な指導のもと実施していくと記載されております。

2 オオムラサキの具体的な保護対策について

オオムラサキの具体的な保護対策としては、エノキの根元で越冬しているオオムラサキ幼虫の保護対策の実施状況について、事業者から報告を受けており、その概要は次のとおりです。

(1) 作業日程

- 平成 26 年 12 月 17 日 (水) : オオムラサキ幼虫の確認及び移設
- 平成 26 年 12 月 25 日 (木) : オオムラサキ幼虫移設先の根元囲い施工

(2) 作業内容

ア 幼虫の調査

エノキの根元で、オオムラサキ幼虫の有無を確認し、個体数を計数。

イ 幼虫移設先の選定

幼虫の移設先は、幼虫の確認地点に近く、かつ幼虫の生息に適した環境に生育しているエノキから選定。

ウ 幼虫採取及び移設

採集した幼虫を落葉とともに移設先に運搬した。幼虫を移設する際は、乾燥や外敵からの捕食を避けるために根元の深いところに置き、その上から運搬した落葉を撒いた。

エ 幼虫の移設先のエノキの根元囲い

移設先のエノキの根元周りから落葉が風で飛ばされないように、エノキの根元周

りに木杭を打ち、その周りを麻素材の布で囲った。

#### オ 移設元のオオムラサキ幼虫確認再調査

平成 27 年 1 月 4 日 (日) に、12 月 17 日の作業で幼虫が確認されなかったエノキについて、再度幼虫が残っているか調査を行った結果、確認されなかった。

### 3 幼虫の保護対策に対して専門家や貴会の意見を取り入れることについて

許可を行った際の事業者からの申請書によると、幼虫の保護対策は、オオムラサキ幼虫の生態を考慮し、専門家からの意見を踏まえて、次の点に留意して移設先を選定することと記載されています。

- ・幼虫が越冬するエノキの根元が乾燥しない環境であること。
- ・幼虫が付いた落葉が雨等で流されないよう急傾斜は避けること。

また、移設は、2 に記載のとおり既に実施されたと報告を受けております。

なお、オオムラサキ幼虫の保護に関して、貴会の意見を取入れるようご要望があることについて、今後事業者へお伝えします。

### 4 幼虫保護の対策なしに移植を行うことをやめるよう業者へ指導することについて

幼虫の保護対策は、3 に記載のとおり実施されたと報告を受けております。

なお、今後も事業者に対しては、幅広く専門家の意見を聞いた上で、エノキの移植などの環境保全対策を実施するよう指導してまいります。

問い合わせ先

森林保全グループ 倉野、山本

電話 045-210-4355